

# わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128  
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>  
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4  
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

## 講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
正しく学ぼう！ ラジオ体操	老若男女を問わず誰でも知っているラジオ体操ですが、正しい動きでできていますか？軽快なリズムに合わせて、体全体の筋肉や関節をバランス良く動かし、健康長寿の元になるラジオ体操を正しく学びます。 講師：鎌立和子(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)	5月26日・6月2日 各金曜日(2回) 午前10時～11時30分	30名	200円	5月7日(日)
季節の草花の寄せ植え (洋風)	お一人おひとりのオリジナリティーあふれる鉢に季節の草花(5株程度)を寄せ植えします。 講師：吉野華恵(グリーンアドバイザー)	5月27日(土) 午後1時30分～3時	20名	2,000円 (材料費込み)	5月7日(日)
リズム&ストレッチ	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングなどの軽い運動やストレッチを行います。 講師：後藤鈴香(健康運動指導士)	6月1日・8日・22日・29日 各木曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	25名	200円	5月14日(日)
大人の絵本レッスン ～すてきに生きるヒント～	絵本は子供だけでなく大人にとっても生きるヒントを与えてくれます。本講座は、講師がテーマに沿った絵本を紹介し、自由に意見交換する読書の形式で行います。(詳細はP22開催案内をご覧ください) 講師：生田美秋(絵本専門士養成講座講師)	6月14日・28日、7月12日 各水曜日(3回) 午前10時～11時30分	15名	200円	5月28日(日)
【総集版 荻窪の記憶】 発刊記念シンポジウム ～荻窪の発展と変貌～	「荻窪の記憶」の執筆者に各々執筆された部分の概要を簡単に話していただきながら、荻窪エリアの近代史・現代史を主体にシンポジウム的な座談会を行います。 講師：「荻窪の記憶」の執筆者・関係者	7月8日(土) 午後1時～3時	30名	無料	6月25日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)  
●往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛申込みください。  
●ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

## 開催報告 地域懇談会

於：荻窪地域区民センター

令和4年度地域懇談会が2月5日(日)開催され、荻窪エリアの町会・自治会、福祉・学校関係をはじめ関係諸団体の方々と地域区民センター協議会関係者など、合わせて約50名が参加しました。



左から中島さん・秋山さん・稲葉さん

全体会合では、荻窪地域区民センター協議会の茂木会長の開会挨拶に続き、社会福祉協議会・地域支援課の中島篤課長の司会で、まちなか・コミュニティ西荻みなみ理事秋山成子氏、子育てきずなサロンぐーちよきば代表稲葉文子氏の講演と質疑が行われました。また荻窪地域区民センター協議会の各部からの活動報告のあと、4つの会場に分かれグループ討議が実施されました。



グループ討議(第1グループ)

## 退任のご挨拶

前会長 茂木愛一郎

「地域の commons となることを目指して」と「わたしのおぎくぼ」2021年4月・5月号に協議会活動の目標として置くことを会長就任挨拶といたしました。とはいえ、この2年間はその前の年に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大があり、ひとひととの繋がりを大切にイベント開催や豊富な講座等の開催が難しい期間でもありました。



ただそのなかにもあっても参加者の安全を図りながら、協議会委員の努力と地域の皆様の協力のもと、「荻窪」の協議会らしい活動ができたと思っております。「地域資源」さがしでもあった「荻窪の記憶」プロジェクトにもひととき寄り添うことができました。

「持続可能性」の維持が社会の目標になっている今、地域にあっては、「私」でも「公」でもない、知識の共有をもとに「共」となるべき commons をもつことが重要です。この協議会が、地域のネットワーク型 commons として機能することを願っております。協議会の益々の発展をお祈りします。

## 郷土博物館分館 問い合わせ：☎5347-9801

西棟2階展示室

## 「淡島雅吉のアトリエ」

～ガラスの「かたち」を求めて～

日本を代表するガラス工芸家で、商業デザイナーとしても活躍した淡島雅吉(1913～1979)。杉並のアトリエに残された作品や資料の数々を通じて、その多彩な活動を紹介するとともに、淡島がガラス作品に込めた思いを探ります。

【開催期間】令和5年3月25日(土)～6月25日(日)

- 場 所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
- 観 覧 料：無料

## 「活動報告」発刊のお知らせ

活動報告(隔年発行)22号

●A4判 ●12ページ

令和3年度・令和4年度(2年間)の当協議会の活動の集大成です。冊子にまとめました。

## 「総集版荻窪の記憶」の配布について

- 配布開始：4月26日(水)～
- 配布場所：当協議会事務局にて
- 配布日時：月曜日～金曜日の午前9時～午後5時
- ※配布できない日：土日、祝日、休館日(毎月第2、第4月曜と20日が休館日)
- 配布部数：原則1冊/1人です

## 荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

**定期総会の日程**  
4月25日(火) 午前10時～11時 会場：第1・2集会室  
課題：令和4年度事業決算報告  
令和5年度事業計画案と予算案  
その他の事項

**委員会の日程**  
4月25日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室  
5月30日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室  
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

## 新会長挨拶



恵羅博 会長

荻窪地域区民センター協議会ではこれまで、「おぎくぼセンター祭り」などのイベントや、様々な講座など、多種多様な事業を推進してまいりました。中でも、「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」や「さいえんす緑日」などは、多くのお子様とご家族が楽しく参加され大変好評でした。地域区民センターが楽しくワクワクする場所となることは、地域コミュニティ発展の場として、大いに相応しいことと自負しております。皆様のご意見に耳を傾けながら、さらに多くの年代の方々に喜んでいただけるよう、活動を続けてまいります。

一方、勤労年齢の変化による協議会委員の不足を克服するために、運営方法を見直すこと、これまで十分ではなかったNPO等多くの団体との連携を図っていくことなど、取り組むべき課題にも事欠きません。時代の変遷とともに地域区民センター協議会の有り方が変化していくのは当然として、近年はその変化が深く本質的なものとなってきた感があります。新しい時代に対応した活動へと邁進する当協議会に、区民の皆様の一層のご支援、ご協力を切にお願いする次第であります。

## 2023年度荻窪地域区民センター協議会の主な活動予定

※画像は過去の事例です

地域交流部	事業企画部	総務部	広報部
<p>イベント(お祭り)</p>	<p>講座(健康講座)</p>	<p>定期総会</p>	<p>広報紙「わたしのおぎくぼ」</p>
<p>イベント(アート展)</p>	<p>講座(野外講座)</p>	<p>地域交流会(こみゅにゃカフェ)</p>	<p>ホームページ</p>

### これからのスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月
<ul style="list-style-type: none"> <li>●14日・28日・5月12日・19日</li> <li>●「ハッピー」を楽しむヴォイストレーニング</li> <li>●21日</li> <li>●「普福寺の四季」第4回春</li> <li>●集合場所 普福寺公園上の池ポート会場</li> <li>●講師 星野義延 星野順子</li> <li>●25日</li> <li>●「定期総会」感謝状贈呈式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●26日・6月2日</li> <li>●「正しく学ぼう！ラジオ体操」</li> <li>●講師 鎌立和子(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)</li> <li>●27日</li> <li>●「季節の草花の寄せ植え(洋風)」</li> <li>●講師 吉野華恵(グリーンアドバイザー)</li> <li>●30日</li> <li>●「広報紙「わたしのおぎくぼ」」</li> <li>●No.363 6月・7月同時発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1日・8・22・29日</li> <li>●「リズム&amp;ストレッチ」</li> <li>●講師 後藤鈴香(健康運動指導士)</li> <li>●14日・28日・7月12日</li> <li>●「大人の絵本レッスン～すてきに生きるヒント」</li> <li>●講師 生田美秋(絵本専門士養成講座講師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●8日</li> <li>●「総集版荻窪の記憶」発刊記念シンポジウム「荻窪の発展と変貌」</li> <li>●講師 鎌立和子(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士) 関係者</li> <li>●3日</li> <li>●「議院出前授業」荻窪小学校</li> <li>●講師 神田山緑</li> <li>●11日</li> <li>●「広報紙「わたしのおぎくぼ」」</li> <li>●No.364 8月・9月同時発行</li> <li>●30日</li> <li>●「さいえんす緑日」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●12日</li> <li>●「議院協議会」(神田山緑他)</li> </ul>

※イベント・講座等は変更になることがあります。  
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。  
※問い合わせ先 ●事業企画部 ●地域交流部 ●広報部 ●総務部

※本紙発行後にスケジュールが変更になる場合があります。最新予定は当協議会ホームページでご確認ください。



# きみのやってみたいことは何？ おいでよ！ ゆう杉並へ きっと何かが見つかるよ！ ゆう杉並(杉並区立児童青少年センター)

シリーズ第1回は、ゆう杉並の小田正人(おだ・まさと)事業係長をお訪ねしました。

## ★概要

ゆう杉並は1994年有識者による建設協議会、職員の建設委員会、中・高生建設委員会(43名)が発足し半年間検討の上で1997(平成9)年9月に開設して本年度26年を迎える中・高生が主に利用する(小学生も利用可能)児童青少年センターです。区民公募(特に中高生)で決まった「ゆう」には友情、融和、遊び、優しさ等の様々な意味がこめられています。



ゆう杉並外観

## ★利用方法(主な事業)

地域での中高生の自主的な活動から、ひたすらのんびりすること、さまざまな利用ができます。ゆう杉並には、学校の生徒会のような役割の「中・高校生運営委員会」があります。利用者の意見を聞いてルールの見直しや運営に関わり、地域イベントの手伝いなどもしています。また、ゆう杉並(ゆう杉並の文化祭)の企画の中心を担い、運営しています。

- ゆう杉並には4つの部活動(演劇・ボーカル・アニメ・鉄道)があります。演劇とボーカルは、プロ講師の指導を受け区内施設にて公演させてもらっています。アニメは声優さんの話を聞かせてもらったりイベントや、アニメ制作会社の見学をさせていただいています。鉄道は、区内施設や児童館に出張して鉄道イベントを実施したり、鉄道写真展にも参加しています。
- 目的や興味に応じて参加するイベントを選べます。また、やってみたいイベントを自ら企画運営する「中・高校生自主企画事業」もあり、職員と一緒に取り組むことが出来ます。
- より良いゆう杉並にするための「利用者懇談会」では、購入物品の選定や予算の使い方などについて話し合います。
- 大学生と話ができる「スペースピア」では、大学受験や大学生活のことなどを直接聞くことができます。

## ★施設

- ゆうホール ダンス、演劇、合唱等の多目的ホール、舞台後ろは

フリークライミング壁

● ロビー 交流スペース。音楽・ファッション雑誌やジュース、カップラーメン自販機あり

● 体育室 567㎡の広々として天井が高い運動スペース、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン等が利用できても用具貸出もあり。

● ゆうカフェ 自由調理や工作も可能

※2月現在、館内では水分補給以外の飲食をすることはできません。



学習コーナー



スタジオ

## ★小田係長よりちょっと一言

ゆう杉並は、体育館やホール、スタジオなどの立派な施設があり、充実した活動が行えます。まだ利用していないという中高生は、ぜひ来館してみてください。ゆう杉並には、アイドルからゲーム、はたまた音楽からプロレスまで対応可能な職員がそろっています。お喋りしましょう。楽しいことだけじゃなくて、困ったときやくじけそうになった時にも、あなたの話を聞かせてほしいです。パラエティに富んだ職員が来館をお待ちしています！



### ゆう杉並(杉並区立児童青少年センター)

住所: 〒167-0051 杉並区荻窪1-56-3  
TEL: 03-3393-4760  
ホームページ: 杉並区▶施設案内▶児童青少年センター  
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/shisetsu/kosodate/center/1006499.html>

### 講座紹介

## 大人の絵本レッスン ~すてきに生きるヒント~

絵本は子供だけでなく大人にとっても生きるヒントを与えてくれます。本講座は講師がテーマにした絵本を紹介し、自由に意見交換する読書会の形式で行います。全3回のテーマは以下の通りです。

- ①感性を磨くヒントとなる絵本 ②大切なことに気付く絵本 ③前を向いて生きるヒントになる絵本

- 講師: 生田美秋(絵本専門士養成講座講師)
- 日時: 6月14日・28日、7月12日(各水曜日) 午前10時~11時30分
- 場所: 荻窪地域区民センター ● 定員: 15名 ● 参加費: 200円

※受講を希望される方はP4の「講座などのご案内」を読んでお申込みください。



## 「荻窪の記憶」

こぼればなし

## 過去への扉を開いたユーモア小説

5年間にわたって開催してきたパネル展「荻窪の記憶」も一区切りしたので、今回は、私が郊外住宅地・荻窪の歴史に関心をもつきっかけになった小説について紹介したいと思います。いまから9年前、私は、母方の祖父で、「ユーモア小説のパイオニア」といわれた作家・佐々木邦の評伝を講談社から出したのですが、その執筆のために膨大な数の小説を読んでいて、荻窪の宅地化をめぐる話に出会ったのです。それは、邦がまだ慶應大学の予科で英語を教えながら小説を書きはじめた大正14年、「婦人画報」に連載した『好人物』という小説でした。

小説の主人公は丸の内の会社に勤めるサラリーマンの千吉君。ある日曜日、大場君という同僚が家にやってきます。大場君の趣味は、郊外の土地を買って値上がりを待つ「土地道楽」で、目下、荻窪に家を新築中です。これは、その大場君と千吉君の妻・安子さんとのやりとり。

「ご新築だそうでお芽出度うございます」、「いや、真の掘って建て小屋で(…)何れ落成の上は一日御来遊を願います」、「有難うございます。中野とか承りましたが……」、「荻窪です。中野辺ではもう郊外気分は味わえませんか」と大場君が答えた。これは中野辺にはもう安い地面がないという意味である。「東京から何時間かゝる?」と千吉君が訊いた。「何時間なんてかゝって溜まるものか。丸の内まで五十分さ」と大場君は力んだ。郊外生活者は東京に遠いと言われるのを最も厭う。

「中野辺にはもう安い地面がない」というように、都心に近いところから宅地化が急ピッチで進んでいたことがわかります。通勤時間はサラリーマンにとって一番の関心でしたが、この時期、交通機関が急速に発達したこともわかります。

さて、その翌週、はじめて荻窪を訪ねた千吉君は、「好いねえ。町中から来ると気分が清々する。あの新緑の間に赤松が並んでいるところはなんとも言えない。油絵だね、まるで」とすっかり感服します。いまも荻外荘周辺には赤松が多く見られますが、当時から荻窪の景観の特徴だったようです。千吉君の目に新築の住宅が入ってきます。「文化住宅の多いにも驚く。日本家屋は滅多にない」というと、「それは皆新築だもの。新たにやるなら何人にしても便利なものを建てるからね」と大場君が答えます。

以下は、昭和4年刊行の今和次郎著『新版 大東京案内』からの引用です。「この頃の郊外の住宅は、多少とも所謂文化住宅の感化を受けないものはないといってよい。日く、赤瓦、日く、ガラス窓、日く、西洋下見、モルタル塗りの外壁等々である。そして窓にはカーテンがかけられ、籐の椅子が置かれたサンルームがあり、蔓棚が設けられる。赤い屋根、白いレースの掛かる窓、戦後の日本人がイメージしたマイホームの原型は、すでに戦前のこの時期に生まれていたのです。



畑の向こうには、新築の洋風の家が…(佐々木邦「文化住宅」の挿絵 和田邦坊画)

さて、マイホームを建てるには土地を手に入れなければなりません。その土地は、今と異なり、買うより借りるのが一般的だったようです。大場君に誘われて荻窪に家を建てた同僚の木下君は「買うものか。自分で建てる分には買っちゃ引き合わない。こゝは坪四銭だぜ」といい、五百坪の土地を二十円で借り、「地代が上がったら半分又貸しをするんだ」といいます。なかなか、抜け目がありません。では、昨日まで、麦畑や大根畑だったところに家を建てて不便はなかったのでしょうか。小説は、少々皮肉な調子でこう書いています。

「電燈はあるんだろうね?」と仙吉君は益々迂遠振りを発揮する。「笑わせるぜ。それだから来て見給えと言うんだ。水道と瓦斯がないばかりさ。しかしタンクをこさえれば水道も同じことだ。石油厨炉は瓦斯の代用になる」と郊外生活をするくらいの人はずべて代用精神がさかんだ。

紙幅の関係で詳しく解説できませんが、当時の荻窪では、土地探しはもっぱら口コミがものをいったらしいこと、若いサラリーマンたちが不便を忍びながらも郊外生活に夢を託していたことなど、当時の様子が彷彿としてきます。

荻窪地域区民センター協議会OB 松井和男

## イベント報告 第29回 本天沼集会所まつり

2月26日(日)、当協議会恒例のイベント「第29回本天沼集会所まつり」が本天沼区民集会所で開催されました。コロナ禍のため、2019年度以来3年ぶりの実施となりましたが、600名にご来場いただきました。大人向けに「杉並産野菜販売」「苗木配布」「骨強度等の測定」などを、子ども達には「ひな壇飾り撮影コーナー」「綿菓子・ポップコーン販売」などを用意しました。催し物会場では「人形劇「きつねのあだ討ち」」「キーボードピアノ演奏」「ヒップ・ホップ・ダンス」が演じられました。ご協力頂きました関係者各位に御礼申し上げます。



会場入口と杉並産新鮮野菜販売



ポップコーン・綿菓子・飲料販売



ひな壇飾りをバックに撮影



母親クラブ、つくしの人形劇



ファンカヒップダンススタジオ